

東町漁協青壮年部が慰問

ブリを食べて長生きしてね

東町漁協青壮年部（岩下幸裕部長）は12月19日、町内5カ所の高齢者福祉施設にブリを贈呈しました。

これは、同部員が育てた養殖ブリ「鯺王」を利用者に味わってもらうために行う年末恒例の活動で、この日は岩下幸裕部長が桃源郷やあかね園、長生園、スマイル園、さざ波の5施設を慰問しました。

長生園では、岩下部長が利用者に出迎えられ、「ブリを味わって、元気に長生きしてください」とあいさつしました。

ブリを受け取った大堂敏彦さん（城川内）は「皆で美味しくいただきます」とお礼を述べました。



↑ブリを贈る岩下部長（写真右）

年の瀬に青パト隊がパトロール

地域の安全・安心を守ろう

「年末年始の交通事故防止運動」にあわせ、町民の安全・安心を守る3Aパトロール隊（石橋親信会長）の出発式が12月29日、川床中学校駐車場で行われました。

同隊は現在、9人で活動し、町内全域をパトロール範囲としています。

出発式後、隊員らは自家用車に青色回転灯を取り付けた防犯パトロールカー（青パト）に乗り込み、町内を巡回しました。

石橋会長は「活動を通して、少しでも交通事故がなくなれば」と願いました。

行人岳運営委員会が寄附

地域のために活用して

行人岳不動明王廟運営委員会（阿多靖直委員長）が12月27日、来庁し、川添町長へ寄附金を贈呈しました。

町道行人岳線が開通し、2年が経過。行人岳への参拝者や観光客は増えています。この日は12月26日の開通日を記念しての来庁となりました。

阿多委員長は「行人岳は初日の出やツルの北帰行も楽しめる有数のスポット。今後も観光客を増やしていけたら」と話し「寄附は町の産業振興や景観整備など地域のために活用して欲しい」と続けました。



↑川添町長へ寄附金を手渡す阿多委員長（写真左）



↑ボランティアで地域を見守る3Aパトロール隊の隊員ら